

2020(令和2)年度関西保育福祉専門学校
第2回 教育課程編成委員会報告

本校の教育課程編成委員会設置要綱に基づき設置した教育課程編成委員会において、「第2回教育課程編成委員会」を開催しましたので、その概要を報告します。

1 開催期日 2021(令和3)年3月11日(木) 15:00~17:00

2 開催場所 関西保育福祉専門学校 校長室

3 出席者(敬称略)

【委員】

名前	所属等	備考
北野 幸子	神戸大学 人間発達環境学研究科 准教授	WEB 出席
富奥 眞二	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会 事務局長	出席
赤井 祐	社会福祉法人聖隷福祉事業団 宝塚せいれいの里 ケアサービス課 課長	WEB 出席
浅田 尚子	尼崎市立西長洲保育所 所長	出席
北島 孝通	幼保連携型認定こども園庄内こどもの杜幼稚園 副園長	欠席
濱田 洋行	社会福祉法人協同の苑 特別養護老人ホーム 協同の苑六甲アイランド 苑長	出席
細川 明子	関西保育福祉専門学校 教頭	出席
藤井 和子	同上 教務委員長	出席
藤田 千波	同上 保育科学科長	出席
尾崎 朋子	同上 介護福祉科学科長	出席
村田 健治	同上 保育科教員	出席

【オブザーバー】

濱名 篤	学校法人濱名山手学院理事長 関西国際大学学長	出席
本田 あけみ	関西保育福祉専門学校校長 関西国際大学経営学部教授	出席

4 委員会次第

- (1) 校長挨拶
- (2) 理事長挨拶
- (3) 協議

【協議事項】 2021(令和3)年度の教育課程について

- ① 学校の取組と今後の方策
 - 学校から資料に基づき説明
 - ・2020年度学校学校の取組と次年度に向けた方策

- ・2019 年度卒業生の就業状況
 - ・2020 年度授業アンケート
- 委員からのご意見
- こども園でアルバイト学生を受け入れている。コロナ禍の関係で飲食業のアルバイトが減っている反動か、保育現場でのアルバイト希望者が増加している。
 - 豊中市ではこども園に iPad を導入済。今後 4～5 年後には、デジタルネイティブの子ども達が入園してくる時代になるだろう。養成校での取り組みを進める必要がある。
 - 就職先訪問の時期については、在学中課題を抱えていた学生については、実習期間中の夏期より、5 月の連休前後に行うことが良いのではないかと。就職先での課題が見えてくる時期であるので、早めのアプローチが有効ではないかと。
- ② 保育科の取組と今後の方策
- 学校から資料に基づき説明
- ・2020 年度の取組と今後の方策
 - ・教育目標到達自己点検票
 - ・就職先からの意見を踏まえた改善策
 - ・新カリキュラムの関係科目のシラバス
- 委員からのご意見
- 教育目標到達の自己評価の説明で、「自己肯定感」がキーワードとして挙がっていた。施設の職員の中にも自己肯定感が低い職員を多く見受ける。そのことが退職にもつながっていく。個別に面談をする中で、職員の思いを受け止めつつ、「自己を認めていこう」と言葉をかけている。学校では、自己肯定感を高めるために、どのような取り組みをしているのか。
 - 学生一人一人の特性を見て、まずは、きめ細かく認めていくことを心掛けている。サポートして、できているところを認めていくが、できているところを言葉にして伝えるようにしている。
 - 身近な人から認めてもらい、褒めてもらう経験が大事である。
 - コロナウィルスに職員が感染し、閉所した保育所もあった。現場では、今後はコロナと向き合いながら、様々な活動を工夫して取り組んでいくことが求められる。

現場の若手職員には、少し失敗したら、失敗した自分を責めて、メンタル面を病み休職に至るケースも増えてきている。職員と関わる中で、承認欲求を満たせるように配慮しているが、若手職員は、職員の中で自己表現することが苦手と感じる。職員会などで、ペアワークや K J 法の付箋を活用した意見交換をすると多くの意見が出てくる。
 - 実習生を受け入れると、1, 2 日目までは緊張感が強い。職員には、かかわっていく中で実習生の得意な所を引き出していくように、と伝えている。
 - ICT は事務処理に活用している。ICT は、ツールであって、内容が問題である。
 - 幼稚園教諭養成課程において、「領域および保育内容の指導法に関する科目」が創

設されたが、その趣旨は、5領域の基礎的理論をおさえつつ、実践と融合させていくことである。つまり、素地として修得した知識や理論、技能を具体化していくことである。

実践することで、「できなかったことができた」「やってみよう」という達成感や意欲を獲得していき、自己肯定感につながる。実践を通して、行動と変化を自覚できる積み重ねが大事である。こうした機会を得られる授業展開を工夫する。

また、家庭と社会のかかわり、保育と社会のかかわりなど社会的な文脈の中で、広い視野を持てるようにすることも大事である。配慮が必要な幼児に対する配慮事項を指導法に入れていく工夫も必要である。

③ 介護福祉科の取組と今後の方策

■ 学校から資料に基づき説明

- ・2020年度の取組状況、次年度の方策
- ・教育目標到達自己点検票
- ・就職先からの意見を踏まえた改善策

□ 委員からのご意見

- 留学生が多くなっているが、そのことが、逆にアピールポイントにもなる。現場におけるチームケアに寄与できる。日本人の学生が留学生へのサポートに慣れていることは現場で動けるという「ウリ」になる。
- 自己肯定感の問題は、介護の分野でも同じである。
- 介護福祉科は人数が少ない分、丁寧に指導されていると感じる。
- 介護の職場でも、認める場作りや機会を増やすようにしている。月1回は発表の場を設け、課題の共有を図っているが、できていること、できることを認め肯定し、伝えることを大事にしている。
- 朝礼では、サンクスメッセージを必ず取り入れている。人に対して、他者から感謝、ありがとうと言う機会、言われる機会を作る取り組みとして行っている。
- 学校で取り組めていないところを教えてもらえば、アルバイトをしてもらっている中で、施設で取り組めることがあるかもしれない。協働する立場で協力できればと考える。
- 留学生がいるからこそ、介護の目的、介護の流れ、介護の支援技術などの基礎的事項をしっかり押さえられているのではないかと。
- 介護人材不足は明らか。養成校として、地域の住民と交流していくことが必要。住民に養成校の役割を知ってもらうことが、志望者につながっていく。地域で行われている子ども食堂のサポートなどをきっかけにするなどが考えられる。地域支援に関して、今後は、子ども、青年、大人と年齢別に行うとか、貧困対策として行うとかではなく、重層的支援が行われていく方向である。

5. 事務連絡